

議 事 録

会 議 の 名 称	第 1 6 回小美玉市小学校（小川小学校・橘小学校）統合準備委員会																																							
開 催 日 時	平成 3 1 年 2 月 2 1 日（木） 1 9 時 0 0 分～																																							
開 催 場 所	小川総合支所 3 階 大会議室																																							
出 席 者	<p>【出席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>小川錬太郎</td> <td>千葉 栄子</td> <td>川名 美佐</td> <td>杉田 三佳</td> </tr> <tr> <td>清水 直樹</td> <td>佐谷 雅義</td> <td>長島 美穂</td> <td>岡根 典子</td> </tr> <tr> <td>高野 一郎</td> <td>高野 裕一</td> <td>石田 昇</td> <td>高安 正浩</td> </tr> <tr> <td>市村小枝子</td> <td>小島 健一</td> <td>平本 敏彦</td> <td>大塚 好藏</td> </tr> <tr> <td>近藤 貞夫</td> <td>藤井 敏生</td> <td>笹目 雄一</td> <td>谷仲 和雄</td> </tr> <tr> <td>植木 弘子</td> <td>内藤裕一郎</td> <td>石川 由里</td> <td>中里里佳子</td> </tr> </table> <p>【欠席委員】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>貝塚 誠</td> <td>安田 健</td> <td>稲野邊 緑</td> </tr> </table> <p>【事務局】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td>加瀬 博正</td> <td>白井 律子</td> <td>狩谷 秀一</td> <td>菅谷 清美</td> </tr> <tr> <td>藤田 誠一</td> <td>長谷川勝彦</td> <td>植田 薫</td> <td>外之内信浩</td> </tr> <tr> <td>内田 真基</td> <td>戸塚 聡</td> <td>入野裕美子</td> <td></td> </tr> </table>	小川錬太郎	千葉 栄子	川名 美佐	杉田 三佳	清水 直樹	佐谷 雅義	長島 美穂	岡根 典子	高野 一郎	高野 裕一	石田 昇	高安 正浩	市村小枝子	小島 健一	平本 敏彦	大塚 好藏	近藤 貞夫	藤井 敏生	笹目 雄一	谷仲 和雄	植木 弘子	内藤裕一郎	石川 由里	中里里佳子	貝塚 誠	安田 健	稲野邊 緑	加瀬 博正	白井 律子	狩谷 秀一	菅谷 清美	藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩	内田 真基	戸塚 聡	入野裕美子	
小川錬太郎	千葉 栄子	川名 美佐	杉田 三佳																																					
清水 直樹	佐谷 雅義	長島 美穂	岡根 典子																																					
高野 一郎	高野 裕一	石田 昇	高安 正浩																																					
市村小枝子	小島 健一	平本 敏彦	大塚 好藏																																					
近藤 貞夫	藤井 敏生	笹目 雄一	谷仲 和雄																																					
植木 弘子	内藤裕一郎	石川 由里	中里里佳子																																					
貝塚 誠	安田 健	稲野邊 緑																																						
加瀬 博正	白井 律子	狩谷 秀一	菅谷 清美																																					
藤田 誠一	長谷川勝彦	植田 薫	外之内信浩																																					
内田 真基	戸塚 聡	入野裕美子																																						
協 議 案 件	・専門部会からの報告について																																							
会 議 資 料	別 紙 (会議次第、 他)																																							
記 録 方 法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録																																							
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 (傍聴者 0 人)																																							

【 協 議 】

(1) 総務・通学部会からの報告

委員長 本日の協議事項は、総務・通学部会からの報告、学校運営部会からの報告、PTA部会からの報告となっている。

まず、総務・通学部会からの報告について、総務・通学部会部会長 千葉委員より説明をお願いしたい。

資料1に基づき、部会長より説明

事務局 本日、校歌を作曲していただいた田川めぐみ氏にご出席いただいたので、校歌を一緒に試聴したい。

田川氏 前回の部会において、校歌のコンセプトについて、作詞担当の河野氏とともに説明をした。

その際に挙がった、「印象が寂しい」「暗い」という意見を受け、修正をした。

歌詞については、「古びたトンネル」を「きらめく光」に、花の名前が並んでいる箇所を、「筑波嶺 彩る 山桜」「水辺に浮かぶ 浅沙のゆらめき」とした。

また、「どの花も名前を持つように」を「どれも美しく在るように」と変更した。

そのほかについては、微調整で、「今」を「君と」に、「泣いて 笑って また泣いて」を「泣いて 笑い また泣いて」に変更した。

河野氏からの説明として、「古びたトンネル」の「古い」という言葉に対して、マイナスのイメージがあるとのことだったので、「きらめく光に」変更した。表現は変更したが、解釈としては、当初と変わらず、統廃合前の旧小川小学校に実在するトンネルをくぐると、そこには明るい日差しの中に仲間たちの笑顔があるというイメージである。

次に、「花の名前が多い」ことに関して、不変の自然や郷土にゆかりのある風景を含めてほしいという意見から、筑波嶺という表現と、筑波山が霞ヶ浦に映る景色を、「水辺に浮かぶ」とした。この変更を受けて、「どの花も名前を持つように」を「どれも美しく在るように」とした。

また、「泣いて 笑い また泣いて」については、歌いやすさを重視した。

曲については、まず、曲の調を変更し、半音高くしたことで、印象が明るくなったかと思う。半音高くなることにより、声が高くなることに関しては、このレベルの変調であれば問題ないという河野氏のアドバイスを受け、また、小学生が歌う音域としては問題ないと考える。

また、伴奏を大きく修正した。平坦なものから構成にメリハリをつけた。

曲名に関しては、詞の中から引用し、「夢色の天空～小川南小学校校歌」としたいと考えている。

委員長 前回、総務・通学部会において協議し、修正箇所を提示した。
部会としては、準備委員会に確認してもらうということで話がまとまった
が、何か感想や質問等はあるか。

事務局 校歌の曲名について、補足で説明させていただく。
作詞の河野氏、作曲の田川氏と話し合いを進めていく中で、「小川南小学
校校歌」とは別の曲名を付けることにより、曲のイメージを持ちやすいので
はないかとの意見があった。
今回、曲の完成を受けて、この意見を踏まえ、歌詞のフレーズである、「夢
色の大空」を曲名に付け、小川南小学校の校歌とするという提案について、
曲と併せて意見をいただきたい。

委員長 曲のタイトルを含めて、意見をいただきたい。

— 意見等なし —

委員長 それでは、曲については、報告のとおりとする。

田川氏 今後の提案として、ハモリパートを検討しており、出来上がり次第、校歌
として正式に完成とさせていただきたい。

委員 校歌は、体育館に掲示することとなるかと思うが、作詞者、作曲者として
は、校歌に曲名を付けたいということか。

田川氏 校歌とすると、学校の歌というイメージとなるため、曲としてのイメージ
を優先させたい。

部会長 前回の部会においては、曲名について正式な決定はしておらず、部会とし
ては、タイトルは「小川南小学校校歌」であり、サブタイトルが付くと理解
していたので、準備委員会において意見をいただきたい。

委員長 「小川南小学校校歌 夢色の大空」という捉え方をしていた。

事務局 タイトルは、「夢色の大空」という曲のイメージがつきやすくなるよう付
けるものであるので、どちらがメインで、どちらがサブかという考え方は、
なくても良いかと思う。

委員長 それでは、部会の報告のとおり進めさせていただく。
続いて、通学について、何か質問等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、部会の報告のとおりとする。

(2) 学校運営部会からの報告	
委員長	続いて、学校運営部会からの報告について、学校運営部会副部長 市村委員より説明をお願いしたい。
	資料2に基づき、副部長より説明
委員長	意見や質問等はあるか。
	— 意見等なし —
委員長	それでは、報告のとおり進めさせていただく。
(3) P T A部会からの報告	
委員長	続いて、P T A部会からの報告について、P T A部会部長 高安委員より説明をお願いしたい。
	資料3に基づき、部長より説明
委員長	意見や質問等はあるか。
委 員	立哨についてはいつの時点で決定するのか。
委 員	橘小学校については、2月28日(木)の総会時に登校班編成について、保護者に確認をしたいと考えている。 現在、各地区の地区委員に、来年度立哨が必要かどうかを検討している。 橘小学校については3月5日(火)に各地区の代表者に集ってもらい、来年度の立哨指導と登校班編成について説明をする。
委 員	小川小学校では、これまで地区委員がいなかったため、子ども会の会長を中心として、登校班編成については話し合いを行ない、来年度の計画が決定している。 立哨については、今後変わる地区もあるかと思うので、立哨が必要かどうか踏まえて計画を立ててもらいたいと思う。
委 員	スクールバスの利用調査について、「15分経ってもバスが来なかった場合、学校へ連絡をする」との旨が書かれていたが、登下校時に保護者が立哨することが前提となっているように思う。
事務局	乗車時には、保護者には立哨していただきたいと考えているが、不可能と

ということであれば、今後、方法を検討していきたい。
今のところは、保護者が立哨していただく方向で考えている。
委員長 今後学校から立哨のお願いも含めて保護者に通知することになると思う
が、子どもたちだけで乗降することがないように検討していきたい。
その他に質問等はあるか。

— 意見等なし —

委員長 それでは、議事は以上とする。

【その他】

事務局 準備委員会については、本日を以って最後とし、今後は開校に向けた準備を進めさせていただく。

これまでに検討した内容については、報告書をまとめ、本日の議事録とともに送付する。

事務局 小川南小学校開校式について報告させていただく。

教育委員会主催として、4月8日（月）に開校式を執り行う。

準備委員会の委員の皆様には、ご出席お願いしたく、3月に案内状を差し上げる予定である。

式典は、8時40分から9時20分を予定している。

4月8日は、小学校、中学校の始業式のため、式の前に、開校式を執り行う予定である。

また、後日内覧会を予定している。

（教育長あいさつ）

大変長い間、ご協力ありがとうございました。

「学校規模配置適正化計画」は、平成22年11月に諮問を受け、約9年間の長きに亘り、調査研究をし、皆様の意見を聞きながら、会議を進めて参りました。

平成25年で中間報告がなされ、平成26年に正式な答申が出され、小川小学校と橘小学校の統合、玉里地区の3校の統合、小川北学区の3校の統合が決定しました。

小川小学校と橘小学校の統合につきましては、平成27年に実施計画ができ、旧小川高校の跡地を小川南中学校とし、小川南中学校の跡地に新しい小学校を建設することが決定しました。

おかげさまで、今年の4月に小川南小学校が開校することとなりました。

これも皆様のご協力があったのことであり、感謝しております。

これからも、より良い小川南小学校ができますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

閉 会 （19：45）